

学校教育の充実と働き方改革について（お願い）

今回この紙面で保護者の皆様にお伝えし、ご理解・ご協力をいただきたいことは、次の2点です。それは、①愛荘16年教育と自律の力 ②教職員の働き方改革 です。

① 愛荘16年教育と「自律」の力

愛荘町16年教育：母親のおなかの中の赤ちゃんが、義務教育の終わりの中学校を卒業するまでの16年間に人生の基礎をつくる16年間と考えて行う一貫教育

その重点は

★子どもが「学ぶための基礎となる力」と「自律の力」を身に付けること

★子どもが「しなやかでたくましい心身」を身に付けること

の2点です。（「自律の力」：課題を見つけ、自ら考え判断し、その解決に向け試行錯誤していく力

※「自律の力」の核となる部分の力を「エージェンシー」ととらえており、「エージェンシー」は、「変化を起こすために、自分で目標を設定し、ふり返り、責任をもって行動する力」です。国の答申や学習指導要領にも関連する資質・能力の重要性が記述されています。）

特に義務教育の期間は、自身の未来のために自分の内面を磨き、力を蓄え、強みや可能性を伸ばしていくことが重要です。読書活動・家庭学習・各種体験活動等の機会や励まし・賞賛の声かけ等について、可能な限りでのご協力をお願いします。

② 教職員の働き方改革

学校現場の状況

＊教育の内容の増加
〇〇教育、△△教育
◇◇教育、□□教育…
＊教職員の多忙化
「教職はブラック」というマイナスの風評

＊深刻な教員不足
公立中学校では15校に1校が教員不足
（2022.1 文部科学省公表資料）
＊なり手不足（教員採用試験の倍率低下）

＊学校現場が限界状態
学級担任や教科担任がいない学校（管理職が代替）
1校あたりに必要な教員数は増加→一人の教員の時間外労働が増（小中では2人に1人が国の基準を越える月45時間以上の勤務）
（NHKニュース他）

子どもにマイナスの影響→授業準備の不足、子どもとのコミュニケーションが減、特別な支援の必要な子どもに支援ができない等

働き方改革は教育の質に直結⇒保護者のご理解・ご協力を

●教員の一日● ★勤務時間の例（小学校） 勤務時間 8:15～16:45

＜教員の1日のスケジュールの例（小学校）＞

7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00
時間外	勤務時間 (8:15～16:45)										時間外	
授業準備	登校指導・朝学活・朝学習	一時間目	二時間目	児童指導（中休み）	三時間目	四時間目	給食指導・清掃指導 児童指導（昼休み）	五時間目	六時間目	給食指導・下校指導	授業準備・教材研究 提出物の返却準備 成績評価 行事の準備 保護者の相談対応 個別の打合せ 学年・学級運営の事務等 ※中学校等の場合には、部活動指導にも従事	

＊早朝や退勤時刻以降は勤務時間外で留守番電話対応となりますので、ご了承ください。

＊今後も行事の精選、外部の力の活用、部活動改革等を行っていきます。